

Performance in FY 2015

活動報告

Challenge 100A ! 中期CSRアクションプランの目標に対する2015年度の取り組み実績

ウェブサイト“CSR情報”には、Challenge 100A ! 中期CSRアクションプラン2013-2015の目標に対する取り組み実績と結果報告および2015年度CSRアクションプランの目標に対する取り組み実績と結果報告を詳細に掲載しています。

充分に目標を達成・・・★★★ ほぼ目標を達成・・・★★☆ 実現に向け努力中・・・★☆☆ 目標未達・・・☆☆☆

分類	No.	2015年度CSRアクションプラン目標	2015年度の取り組み結果	自己評価
基盤	1	グループ会社を含めたコンプライアンス・CSR研修の継続実施	●CSR研修：海外グループ会社含め36回558人を実施 さらに受講者が自ら講師となり自職場へCSR研修を展開 ●コンプライアンス研修：国内集合研修を52回2,718人、DVD研修を541人、中国子会社での研修を6回206人に実施	★★★
	2	各事業部のBCPマニュアルの見直しを行い、より実効性のあるBCPマニュアルを整備 ITマニュアルに基づく訓練により有事発生時における事業継続性を担保	各事業部の整備を完了 ITマニュアルは、情報システム災害対応基準書(初動編・復旧編・維持編)として完成	★★★
	3	化学物質規制に関する社内教育プログラムの充実 各国基準に適合したSDS*によるお客様への情報提供(引き続き各国のGHS導入に確実に対応)	●化学物質規制に関する社内教育：新入社員/中堅社員/技術部を対象とした教育を実施 ●SDSによる情報提供：米国、中国等の法令、規格への適合を図った	★★★
社会的責任	4	抗がん薬内包高分子ミセル開発推進 日本初の抗体バイオ後続品治療の提供	●抗がん薬内包高分子ミセルの開発は進捗している ●抗体バイオ後続品治療提供は、新たに臨床試験結果の報告を行うなど、医療関係者の理解を深めた	★★☆
	5	火災安全維持推進チームによる階層別教育プログラム実践	講習：初級者は3回20人、中上級者は1回49人を実施	★★☆
	6	農業安全使用のための現地指導を継続実施	説明会：各担当者が担当地域で実施、本件に関して誤使用による重大な違反や事故：ゼロ	★★★
	7	サプライヤー向けにウェブサイト等を介してCSR調達実施に向けた啓発を開始、CSR調達運用をグループ会社への展開	●CSR調達ガイドブックをウェブサイトに公開 ●グループ会社にCSR調達の取り組みを依頼	★★★
	8	重大事故災害、休業災害、無傷害事故：0件、不休業災害：5件以下、 医薬MR業務上及び通勤路上自動車事故率：4%以下	●重大事故災害：ゼロ ●作業事故(災害)：休業3件、無傷害事故2件、不休業災害5件 ●交通事故：医薬MR業務上*3及び通勤路上自動車事故率16.8%	★☆☆
	9	重大顧客クレーム：0件、重大工程異常：0件 なぜなぜ分析の実施による職場力の強化とグループ会社への展開	●重大クレーム：ゼロ ●重大工程異常：1件 ●国内工場で「なぜなぜ分析」の活用が進み、中国グループ会社にも展開	★★☆
	10	「あすなるの家」を引き続き維持運営 ピンクリボン活動・工場祭・地域との懇談会・地域清掃活動・公開講座の継続実施	「あすなるの家」利用家族数：107家族(稼働率56%) ●ピンクリボン活動：10月に各事業場で街頭配布 ●工場祭・地域との懇談会等：予定通り実施 ●教育CSR(イベント型)として、各事業場で地域の子どもたちへ化学実験ショーを実施	★★★
	11	ウェブサイト：掲載内容の充実 投資家：コミュニケーションの充実 社内報：連帯感の醸成	●ウェブサイト：IRサイトを更新、100周年記念サイト開設 ●投資家との対話：株バラックでの工場見学会を実施 ●社内報：100周年記念企画を掲載	★★★
	12	IFRS(国際財務報告基準)導入に向けての準備 BEPS*2行動計画(特に移転価格関連)への対応	●IFRS導入検討プロジェクトを立ち上げ、活動中 ●BEPS対応に向け、情報を収集し、国別報告書(案)を作成 ●中国グループ経理会議で外部講師による移転価格税制講習会を開催	★★☆
	13	各目標については継続、女性管理職登用比率の目標値公表 各目標については継続	●障がい者の法定雇用率：1.9%(52人) ●女性管理職登用比率：5.7%(単体・出向者含む) ●女性管理職登用比率目標数値の公表：8.0%(単体・出向者除く2020年度達成目標値)	★★★
	14	メンタルヘルス研修：3カ年計画1年目受講計画の達成、健康診断：受診率100% ストレスチェック制度：体制の整備	●メンタルヘルス研修：計画通り実施 ●健康診断の受診率：100% ●ストレスチェック：体制を整備し、ストレスチェック実施要領を制定	★★★
	15	次世代育成支援対策推進法の趣旨に則り、行動計画の策定・外部公表の実施	●労働時間管理の徹底：労使による労働時間専門委員会を実施 ●時間外労働時間の削減：一人当たり月平均12.4hr ●次世代育成支援対策：過年度実績及び行動計画をウェブサイトに公開	★★☆
	16	通報・相談窓口の周知と適切な対応	通報・相談窓口：コンプライアンス研修時に周知を実施、通報相談は適切に対応した	★★★
	環境責任	17	8%程度を目標にグリーン購入を継続	環境負荷に配慮した間接材の購入金額比率：8%
18		化学物質排出量の削減：2020年度までの中期環境目標(ウェブサイトで詳細報告)達成に向けた取り組みの継続	各事業場で取り組みを継続実施、データは本冊子(P21)、ウェブサイトに開示	★★☆
19		現在進行中の廃水処理検討テーマは2015年度末に完了、以降は次のテーマへ挑戦	●廃水中の重金属除去技術に関しては、技術確立 ●工場の既存テーマについてはほぼ終了し、設備計画も立案済み ●新たな脱色法に関して、実設備での検証実験中	★★☆
20		対前年比1%以上のエネルギー原単位改善を継続	●省エネ点検を計画的に実施 ●新規省エネ設備の調査、導入指導を推進 ●エネルギー使用量：前年比1.5%削減 ●エネルギー原単位：前年比103.5%と悪化	★☆☆
経済的責任	21	グループ会社中長期重点課題制度の浸透とこれに基づく評価制度の実施	●全てのグループ会社に対して中長期重点課題制度を実施 ●これに基づく評価制度を対象となるグループ会社で実施	★★★
	22	在庫量の適正化へ向け全社で取組、遊休不動産の計画的売却	●適正在庫に向けて各部で取り組みを実施 ●東京事業所の遊休土地を売却	★★☆
	23	反射フィルム(Freelux)を拡販	サングラス用途に拡販し、さらに別用途への展開も進めている	★★☆
	24	ジェネリック抗がん薬の遅滞ない上市	ジェネリック抗がん薬を4品目上市	★★☆
	25	マレーシア拠点の生産開始、中国・メキシコ・チェコ拠点における生産設備増強	マレーシア拠点は予定通り生産開始し、その他の拠点は、順調に各生産設備の準備を進めた	★★☆
	26	全社発表会のグローバル対応推進、発表会等による情報共有推進、若手教育プログラムの計画的実施	●各種発表会は計画通り実施 ●日本化学独自の小集団活動を継続し、改善活動&人材育成を展開 ●熟練社員による生産技術教育を計画通り実施	★★☆
27	新規に創設したイノベーション創出研究センターや各研究部署(グループ会社含む)と連携して、継続的にコーポレート研究テーマを創出	●コーポレート研究テーマ2件を新規立上げ ●海外グループ会社との協業テーマ1件を開始	★★☆	

※1 SDS: Safety Data Sheet (化学物質安全性データシート) ※2 BEPS: Base Erosion and Profit Shifting (税源浸食と利益移転)
※3 参考資料 医薬MR業務上：日本製薬工業協会公表によると「全車両で見た場合の2014年度有責事故率(有責事故件数/全車両台数)は21.0%」

★☆☆の今後の対応について

- 8 ... ★☆☆ 安全諸活動が実際の作業で生きるよう指導強化する。交通事故防止として、新人教育や駐車練習を強化する。
- 18 ... ★☆☆ 設備面主体の省エネ点検に加え、製造プロセスのムダ取りを進め、原単位改善を目指す。